

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年11月5日第149号—

<目次>

●リニア大深度トンネル工事の本格掘進を止めよう

■学校給食の無償化を求める2万筆署名成功へラストスパート

▲お知らせコーナー

- ① 11/8 より、学校給食無償化署名
- ② 11/10 現地見学ツアー宇奈根排水樋門、平瀬川の下流域を中心に
- ③ 11/29 から京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」

★編集後記

●リニア大深度トンネル工事の本格掘進を止めよう

麻生区向原在住の伊藤清美さんが、日本共産党麻生区後援会ニュースに寄稿した原稿を、伊藤さんの許可を得て、転載します。大深度トンネルの本格掘進が進んでいることは、ほとんどの市民は知りません。

川崎市は、住民の不安に耳を貸さず、市政だよりでも市のホームページでも情報はほとんど流さず、流しても「安全な工事を要望している」と言うだけです。

一方で、トンネル工事から大量に排出される掘削土を川崎市は、東扇島掘込部の埋立につかうことをJR 東海と契約し、工事の後押しをしているのです。

伊藤さんの報告は以下の通りです。

<巨大なマシン、いよいよ住宅地へ入る>

JR 東海は、ヨネツティー王禅寺の地下90mに約1年間停止していたシールドマシンによる掘削を再開した。

これまでは、東百合ヶ丘立坑からヨネツティー王禅寺までの134mを調査掘進。(人家はなかった。)

今回は、本格掘進として住宅地にいよいよ入る。9月30日までに約1m掘進。10月にはヨネツティー西側のマンションや住宅街の真下を、地権者の了解もなしに掘ることになる。

直径14m(ビル4階建てに相当)の巨大な横穴の掘削によって住宅を支える地盤の強度低下、振動騒音、沈下、陥没、地下水位や流れの変更など自宅や環境への影響は地震時の地振動の増幅も心配される。

<大深度トンネル工事への心配は杞憂なのか>

JR 東海やリニア事業を認可した自公政権は、地上には影響を及ぼさない、安全だと繰り返す。しかし、現実はどうか。

去る9月26日、広島市西区福島町の交差点で幅 15m 長さ 40m にわたり、道路が陥没。市営の集合住宅などが傾き、コンクリートの壁に割れ目が入り、住民は避難。小学校に設置された避難所に移ったという報道に驚いた方も多いただろう。

この事件も道路下 30m を直径 6 m のシールドマシンによる雨水貯留管用のトンネル掘削が原因であることが明らかになった。

トンネルの大きさを比べてみよう。リニアは、直径 14 m、陥没した広島は 6 m。直径で 2.3 倍。断面積で 5.4 倍以上もリニアのトンネルは大きい。

それだけ危険度が増すと言わねばならない。

最後に、住宅真下を勝手に掘る JR 東海と国に対し、川崎市や私たち住民は黙ってみていることしかできないのであろうか。(続く)

<大深度地下使用法の廃止を！>

日本共産党国会議員団のリニア問題プロジェクトチームは、東京外環道やリニア新幹線、北陸新幹線(敦賀―新大阪)で、住宅街の地下を地権者の同意も補償もなく工事を進めることを可能にした大深度地下使用法を廃止する法案骨子案を提起しています。

骨子案は

- (1)大深度地下使用法は廃止する
- (2)進行中の大深度地下工事は中止し、継続する場合は地権者の同意を必要とする
- (3)事業者が被った損失は補償する
- (4)今後、地下の大規模開発は厳しく制限する

—というものです。

川崎市のリニア大深度トンネル工事を止めるためにも、ぜひ、参考にして運動を進めていきましょう。(H)

■学校給食の無償化を求める2万筆署名成功へラストスパート

学校給食の無償化を求める川崎市民の会は、11月2日に共同代表・事務局合同会議を開催。11月末の市議会への署名提出までに、なんとしても目標の2万筆達成をめざすことを決めました。

11月2日現在で、署名は12666筆になり、ネット署名も2869名に達しています。

<川崎市の学校給食費値上げの動向はどうなっている>

9月議会の代表質問で、自民党の各務雅彦議員は、学校給食費の改定について質問しています。

(質問1) 給食費の値上げはどれぐらいの幅になるのか。保護者への周知はどうなっているのか。

(教育次長の回答) 物価高騰のため、給食の質を維持するため学校給食費の改定額は、1食当たり小学校50円程度、中学校60円程度を見込む。

保護者アンケートを実施し、物価高騰への保護者の理解を得ていくとともに、給食費改定へのご意見を伺う。

(質問2) 全国的には他自治体が無償化をする中で、川崎市が改定をせざるを得なくなった理由は何か。

(回答) 物価高騰は今後も続き、保護者からの給食費では食材料費が不足する事態が続いている。

令和4年度と5年度は国のコロナ臨時交付金の活用、令和6年度は、学校給食基金の繰り入れで対応しているが、給食の質を維持するためには改定もやむをえない。

(質問3) 今後、その方針はかわることがあるのか

(回答) 本市は、食材費は保護者負担を原則としている。

この質疑から、川崎市は給食費改定についての「保護者アンケート(値上げやむなし意見が多数への誘導)」の検討をふまえて、保護者から徴収する給食費を1食当たり小学校50円(年9350円)の値上げ、中学校60円(年9900円)の値上げの方針案を作り、令和6年度中に決定すると予想されます。

自民党各務議員が質問した「全国的には他自治体が無償化をする中で、川崎市が改定をせざるを得なくなった理由」への回答は「食材費は保護者負担を原則」と繰り返すだけで、とうてい納得できません。

<「義務教育は無償、学校給食は無償」は市民の声です>

2日の事務局会では、市内各所での署名活動で、市民からの大きな期待がよせられていることが報告されました。

なかでも、10月20日に開かれた中原区民祭での署名活動では、1日に500筆以上が集まった報告には驚きの声が上がりました。

6月30日からじまった署名活動は、11月2日現在で、12666筆、ネット署名2869名に達しすでに、昨年の無償化署名10441筆を超えています。

市民から「給食無償化になると給食の質が落ちるのが心配」との声もあります。

それに対しては、今回の署名運動は、映画「希望の給食」の上映運動とセットで始まり、地産地消や有機米推進など、日本の食の在り方を見直す取り組みへの発展にもつながることを説明し、理解を求めています。

<11月24日までに2万筆達成をめざすラストスパートへのご協力をお願いします。>

「市民の会」は、11月27日に署名を集約し、11月28日に市議会に提出します。川崎市が提案してくる「給食費値上げ」案に対し、当日、記者会見も行い、「市民の声は給食無償化です」とアピールをする計画です。そのためにも、さらに幅広い呼びかけを進めて、2万筆署名の達成を実現する決意です。

市民の声で、12月市議会が、義務教育は無償、学校給食は無償を進める市議会にしていこうと決意を固めています。

学校給食の無償化を

求める川崎市民の会事務局

※ [学校給食無償化のネット署名はこちらから](#)

★お知らせコーナー

①学校給食無償化署名の予定

- a.11月8日(金)、13日(水)、21日(木) 10:30～11:30 川崎駅ラゾーナ連絡通路
- b.11月9日(土) 2時半～3時半 溝口駅前ペDESTリアンデッキ
- c.11月10日(日) 11:00～12:00 等々力公園入口

※ どなたでも参加できます。連絡先 090-7830-8030(市古博一)

②水害現地見学ツアー(第5弾)

宇奈根排水樋門、平瀬川の下流域を中心に歩きます

11/10(日)12:30～

主催 台風19号水害を考える川崎の会

連絡先 船津了 電話/FAX 044-433-4290

[詳しくはこちら](#)

③京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」

11/29(金)～12/8(日)まで全ての席が満席となり、追加公演を決定しました。

12/6(金)15時を追加しました。

詳しくはHPで。

会場:スペース京浜

前売り券:一般3,500円、障がい者・学生2,000円

当日券:各500円増

キャンセル待ちを受け付けます。

劇団まで直接お問い合わせください。

[公式サイト](#)

[コリッチ・チケット](#)

★編集後記

11月3日の東京新聞は『「緑の日傘」23区で減少』と1面でとりあげ、「9年間で東京ドーム256個分消失」と危機感を訴えています。

そして、「都は数値目標を掲げず」というタイトルが目に入ります。

そうか。なら川崎ではどうなのだろうか。と調べてみました。

川崎市は長期的にみると市街化による緑の喪失は深刻な状況です。

市は、「川崎市緑の基本計画」を策定し、緑の保全に注力しています。

川崎方式というのがあります。

緑地総合評価に基づく3段階の樹林保全施策。

樹林地の所有者に対し、保全普及啓発を図るため、樹林地への行為への規制が弱く、解除も可能な「緑地保全協定」等をきっかけとして、恒久的な保全を目的とした「特別緑地保全地区」や、「緑の保全地域」への移行を促進するもの。

市が保全対象としている 1000㎡以上のまとまりのある樹林地等は 2006 年から 2016 年までに約 42ha 減少し、620ha が残存。このうちさまざまな施策により約 391ha の樹林地帯が保全される一方で残り 229ha については保全施策が未実施で引き続き保全の推進が必要。

と危機感を示しています。

しかし、市全体として今後どれくらいの緑を保全していくかは東京都と同様、示されていません。

数値目標を掲げないことで、等々力の樹木伐採が正当化されているとしたら、とんでもないことです。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/Wo48Skf60bxX?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp